



まちづくり検討会議

ニュースレター vol. 1

令和6年
6月

「まちづくり検討会議」って？

「まちづくり検討会議」は、地域の方と学生が直接対話し、学生が地域の声を聞いた上で、地域のニーズや課題に対して学生からアイデアを提案し、提案した内容を地域と学生が一緒に実践するという活動です。

令和6年度に連携するのは茨木地区と福井地区の2地区。茨木地区では、ふるさと祭りなどの地域イベントで、学生中心にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、地域活動の新たな担い手を発掘するために必要なことや、効果的な広報手段を考え、最終的に学生から地域に提言を行う予定です。

令和6年5月28日（火）に、地域の方と学生が顔合わせをし、学生に茨木地区の現状を知ってもらうための、第1回まちづくり検討会議を実施しました。

まちづくり検討会議 3ステップ



緊張をほぐすアイスブレイク

◆第1回会議概要

日時 2024.5.28(火) 19:00～21:00
会場 障害福祉センターハートフル
参加者数 学生 17名
 地域の方 7名

プログラム

- 検討会議趣旨説明
- アイスブレイク
 - 参加者全員で自己紹介
 - グループごとに自己紹介
- 地域の現状説明とグループワーク

第1回目の会議では、市職員からまちづくり検討会議の趣旨説明を行った後、これから1年間一緒に活動していくメンバーのことを知るために、全体で自己紹介を行いました。学生は、名前などと合わせて、活動に参加したきっかけを紹介し、地域の方は、この日の会議にどのような気持ちで参加しているかを紹介しました。

その後は、グループごとに改めて自己紹介を行い、お互いのことをより詳しく知りました。最初は固かった会場の雰囲気も、自己紹介タイムが終わるころには、随分とほぐれました。



茨木地区ってどんな地域？

アイスブレイクで緊張がほぐれた後は、1時間程度、茨木地区のことを知り、茨木地区について考えるグループワークを行いました。

まずは、茨木小学校区地域協議会の大塚会長より、茨木地区の特徴や、人口動態、小学校の児童数の推移などについてご説明いただき、大塚会長の説明を踏まえて感じた「茨木地区の印象」を、グループごとに話し合いました。茨木地区の印象について話し合う中で、「茨木地区を色に例えると何色？」というテーマについても考え、「商店街があつて賑やか」「学生やこどもが多く活気がある」という理由から、オレンジや黄色などの明るい色が多く挙げられたほか、「元茨木側緑地や茨木神社の緑が豊か」「落ち着いた優しい雰囲気の地域」という理由から、緑や青色なども多く挙がりました。

その後は、大塚会長から、「地区の人口は増えているが自治会加入率は低下している」「担い手が高齢化して、地域活動の継続が難しくなっている」など、茨木地区のコミュニティ活動の現状について詳しくご説明をいただき、説明を聞いて感じた点をグループごとに話し合いました。学生からは、「加入率が高い自治会の活動を研究してみては？」「自治会活動以外にも、地域との関わり方はあるのでは？」など、様々な疑問点やアイデアが挙がっていました。

今後に向けて

第1回会議では、参加メンバーのことや、茨木地区のことを詳しく知ることができました。今後は、茨木地区のことをもっと知るためにまちあるきを行ったり、8月3日のふるさと祭りでアンケート調査を実施するために、アンケート内容の検討やアンケートの実施準備などを進めていく予定です。



大塚会長による地域の説明



グループでざっくばらんに意見交換



グループで出たアイデアを学生から発表

参加者の声

茨木市内の大学に通いながらも、茨木市について全く知らなかつたので、まちの特徴や課題を知れて良い機会になりました！これから一緒に活動していく仲間や、地域の方の顔を見ることが出来てよかったです！



追手門学院大学 橋場さん

初めは緊張していたのですが、自己紹介やグループワークを通して他の大学の方や地域の方と様々なお話をできたため、とても有意義な時間を過ごすことができました！

これから頑張っていきたいと思います。



大阪成蹊大学 山本さん

Q.第1回検討会議に参加していかがでしたか？